

三中だより

令和6年度 4月号



令和6年4月10日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No. 1)
校長 小柴 憲一

「社会を構成する一員としての自覚」を高めるための環境の変化への適応

大人はこれまで、人生の節目で度々、環境の変化を体験してきました。

学年の進級・学校の進学のみならず、社会進出、担当部署等の異動、結婚、出産・育児、子どもの進級・進学・受験等、その度ごとに、保護者自身の環境も多かれ少なかれ変化し、その変化に順応しながらここまで来られたことと思います。

子どもたちは、それらの体験がまだ少なく、環境の変化に容易に順応することのできる子どももいれば、そうでない子どももいます。しかし、先ほど記載したとおり、大人の私たちが体験してきたように、子どもたちはこれから多くの環境の変化を乗り越えていかなければなりません。

つまり、その学習をすること自体が、社会人に近づくための一歩であり、子どもたちには年度またぎの段差を力強く上げてほしいと願っております。

そこで、1学期の始業式に当たり、子どもたちに以下の話をしました。

おはようございます。校長の小柴です。

令和6年度が始まりました。

2年生は初めての中学校でのクラス替えを経験し、仲の良かった友達と別れてしまった人もいるでしょう。3年生は2回目のクラス替えですが、このクラスでこれからの最後の学校行事を迎え、そしてこのクラスで卒業式に参加することになります。

2年生・3年生一人一人にとっては、大きな環境の変化だと思います。

ここで大切なことは、「この環境の変化をどれだけ前向きにそして肯定的に捉えられるか」なのです。そのように受けとめることのできる人は、環境に順応しやすく、これからの人生でも度々と来る環境の大きな変化に対しても適応し、そのなかで人間関係を円滑に構築し、自分がもっている力を最大限に発揮していけるのです。

逆に、環境の変化に対して後ろ向きに、あるいは否定的に捉えてしまう人は、不平不満を言うことが多くなってしまい、環境が変わるたびに自分の力でその環境に適応しようとはできず、力は十分には発揮できなくなってしまうのです。

また、人柄としても、前向きに肯定的に生きている人は、どことなく明るく話しかけやすく、自分の存在も認めてくれそうだなと思わせる魅力のある人になりますが、後ろ向き否定的に生きている人は、愚痴ってしまうことが多くなってしまい、自分のこともどこかで言われているのかなど、距離を置きたくなる人になってしまうのです。

先ほど、着任式で今年度三中にいらっしゃった先生方を紹介しましたが、着任された先生方も大きな環境の変化です。しかし、みな社会人ですので、この環境の変化を前向きに、そして肯定的に受けとめて、三中の子どもたちのために勤務されることと思います。

つまり、社会を構成する一員としての自覚を高めるためには、皆さんもこのように環境が変化したときに、それを受け入れ、その環境の中で何ができるかという発想に立って生活をしていく習慣を身に付ける学習をしていく必要があるのです。

特に、今、「あ～あ」と思っている人。

どうかそのため息をやめて笑顔をつくり、新しいクラスの中での自分の居場所を見つけだして、

新たな友達をつくったり、そのクラスの中でコツコツと学習に励んだり、学び合いの学習でもきちんと自分の意見を言ったり友達の意見を受けとめたりしてください。そして、来年の3月には、「このクラスと別れるのは寂しいなあ」と思えるようになったら、社会人に大きく一歩近づいたことになります。

皆さん2・3年生が前向きに生活をしていなければ、明日入学してくる1年生はもっと大きな環境の変化にとまどってしまい前に進むことができません。

先輩の後ろ姿を見せるというのは、このようなところでも言えるのではないのでしょうか。

以上で、私の話を終わります。

昨日の入学式におきましても、新入生に対して、「社会を構成する一員としての自覚を高めるように」として、自治活動・学校行事・ボランティア活動を例に挙げて話したところです。

1年生にとっては、学校が変わり、教員も全員変わり、知らない友達とも同じクラスになっているという大きな環境の変化に適応していくことも、「社会を構成する一員としての自覚を高める」チャンスなのです。

ただし、お子さんによっては、環境の変化や生活リズムの変化に対して、大きな抵抗感をもつ場合もあり、そのようなお子さんの場合は、すでに保護者の方が入学する前から認識されていることが多いと思います。

そのような場合は、クラスの子どもたちが周囲にいるときに意図的に声をかけるようにしたり、逆に見守りながら周りのこどもたちに聞こえないように励ます言葉をかけるようにしたりなど、その子どもに応じて、できる範囲で段差を少しでも低くして乗りこえやすくするような工夫をいたしますので、担任までご相談いただきたいと思います。

この年度替わりの環境の変化は、1年ごとに起きることです。一度、この環境の変化のコツをつかむことによって、その学習の成果が毎年発揮されていくことを期待しております。

規則正しい生活を

すでに、本校ホームページに4月の行事予定をアップロードしておりますが、本日の生徒会オリエンテーションに始まり、各学級での学級開きのための委員や係決め・学級目標の決定・専門委員会・中央委員会・区学力向上を図るための調査・JRC登録式・全国学力学習状況調査・離任式など、先を見通しやすい学校生活ではなく、特に1年生にとっては何もかもが初めてのことばかりで体力的・精神的にも疲労がたまることと思います。

また、5月中旬には中間考査も予定されており、3年生にとっては進路に向けての大事な考査であり、部活動との両立も求められてくる期間でもあります。

このようなときだからこそ必要なことは、規則正しい生活を送ることです。

学校生活が不規則に流れていても、私生活では適度な運動やバランスのとれた食事、毎日同じ時刻の就寝・起床、そして十分な睡眠時間などの規則正しい生活は、毎日の疲労を回復しやすくなり、精神的にも安定させることができます。

これらの経験は、私たち大人が社会人になった後でも、実践してきたことではないのでしょうか。仕事の繁忙期になると、突発的な仕事の連続、緊急性・重要性の高い仕事の集中など、それぞれ先の見通せない毎日の仕事をこなすことになります。そのようなときだからこそ、なるべく私生活では規則正しい生活に戻せるよう努力をしたと思います。

今、子どもたちは仕事の繁忙期におかれている状況と同じと思っていただき、ご家庭では規則正しい生活が送れるようご協力いただければと思います。

教職員の異動

●転出・退職者

	職 等	氏 名	教 科 等	新 所 属
1	主幹教諭	齊藤 雅之	英 語	葛飾区立奥戸中学校副校長
2	主幹教諭	加藤 雅樹	社 会	荒川区立第一中学校
3	主任教諭	鎌田 律子	特 支	荒川区立第一中学校非常勤教員
4	主任教諭	平岡 一志	特 支	港区立港南中学校
5	主任教諭	桑野 真嘉	技 術	荒川区立尾久八幡中学校
6	主任教諭	阿久津 汐里	音 楽	豊島区立西池袋中学校
7	主任教諭	金子 輝	保 体	北区立都の北学園(後期課程)
8	教諭	大島 茂	国 語	江東区立第三砂町中学校
9	教諭	梅本 拓真	数 学	品川区立日野学園(後期課程)
10	教諭	宮川 奈那子	英 語	墨田区立文花中学校
11	育休代替教諭	加藤 恵	英 語	退職
12	育休代替教諭	吾妻 紘樹	保 体	都立墨田特別支援学校 採用
13	特別支援教育支援員	金子 真理		荒川区立諏訪台中学校
14	特別支援教室専門員	藤田 洋子		退職

長い間、大変お世話になりました。

●転入・採用者

	職 等	氏 名	教 科 等	前 所 属
1	指導教諭	道面 美紀	特 支	墨田区立本所中学校
2	主任教諭	弓田 暁裕	社 会	大田区立大森第一中学校
3	主任教諭	貴堂 昌子	音 楽	豊島区立西池袋中学校
4	教諭	近藤 亮介	数 学	新規採用
5	教諭	高野 賢一	保 体	西東京市立青嵐中学校
6	教諭	安藤 俊明	技 術	荒川区立尾久八幡中学校
7	教諭	末永 譲	英 語	港区立御成門中学校
8	教諭	後木 明里	英 語	新規採用
9	育休代替教諭	高坂 明斗	保 体	採用
10	育休代替教諭	涌井 泉美	英 語	採用
11	非常勤教員	五明 達也	経 営	荒川区立第九中学校
12	非常勤教員	田中 伸幸	数 学	荒川区立第五中学校
13	非常勤教員	毛利 敦	英 語	荒川区立南千住第二中学校
14	主事	今野 愛佳	栄 養 士	新規採用
15	特別支援教育支援員	渡邊 正夫		採用
16	特別支援教室専門員	塚本 真人		採用

これから、よろしく願いいたします。

●昇任者

	氏 名(担 当)	内 容
1	片岡 美佳(国語)	主任教諭から主幹教諭へ
2	金山 桜子(栄養士)	主事から主任へ
3	中山 理恵(学校司書)	主任から上級主任へ

令和6年度 教職員組織

	職	氏名	教科等	主任・担当等	
経営	副校長	安田 博史	経営		
1-A	教諭	末永 讓	英語	学年主任	
1-B	教諭	小林 知子	家庭		
1-C	教諭	高野 賢一	保体		
1-D	主任教諭	貴堂 昌子	音楽		
1-E	主任教諭	小谷野美智子	理科		
副担任	教諭	白鳥 康宏	国語		
副担任	教諭	近藤 亮介	数学		
副担任	非常勤教員	小野 博志	社会		
副担任	非常勤教員	田中 伸幸	数学		
副担任	主任教諭	山本 康子	養護		保健主任・食物アレルギー対応委員長
2-A	主任教諭	弓田 暁裕	社会	学年主任	
2-B	主任教諭	山本 奈緒	数学		
2-C	教諭	小山 輝人	理科		
2-D	主幹教諭	能美 真弓	英語	教務主任	
副担任	主任教諭	佐野 由香里	美術	司書教諭・特別支援教育コーディネーター	
副担任	教諭	安藤 俊明	技術		
副担任	教諭	涌井 泉美	英語		
3-A	主幹教諭	千葉 優彦	数学	学年主任	
3-B	教諭	春谷 康太	数学		
3-C	教諭	小坂 瞭斗	社会		
3-D	主幹教諭	片岡 美佳	国語		生活指導主任・いじめ防止対策委員長・不登校対策委員長 進路指導主任・研究主任
副担任	教諭	宮崎 靖子	理科		
副担任	教諭	後木 明里	英語		
副担任	教諭	高坂 明斗	保体		
副担任	非常勤教員	毛利 敦	英語		
2-三	指導教諭	道面 美紀	特別支援学級		三組主任
3-三	教諭	丹野 勇貴	特別支援学級		

役職等	氏名
事務主事等	古谷 淳
	吉田 あゆみ
栄養士	金山 桜子
	今野 愛佳
用務主事等	松尾 勉
	眞野 晴美
	鈴木 育子
学校司書	中山 理恵
特別支援教室専門員	塚本 真人
特別支援教育支援員	渡邊 正夫
特別支援教育補助員	竹守 晴美
スクールサポートスタッフ	山根 由子
スクールカウンセラー	平野 学
スクールソーシャルワーカー	上村 未芽子
登校サポートスタッフ	大森 美幸
心理専門相談員	野口 直輝
特別支援学級介助員	石原 日和
巡回心理士	塚本 文子
副校長事務補佐	二瓶 栄治郎
副校長補佐非常勤教員	五明 達也
NEA	<今後決定>

時間講師	
氏名	教科等
<今後決定>	国語
種部 志保	三組音楽
工藤 由紀子	三組美術
向井 加寿子	保健体育
向井 加寿子	三組保健体育
桑原 幸子	三組家庭
<今後決定>	三組英語

●保護者・地域の皆様へ

今年度も全教職員で「一人一人の子どもを大事にする」を基本理念として、全力で教育活動に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。